# Contents 119 堂前廃寺





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

国府町木曽垣内字堂前に所在する。北西方向2kmには白鳳寺院塔の腰廃寺があり、付近一帯には、古墳としては木曽垣内大塚、木曽垣内比丘尼塚、木曽垣内塚田古墳などが知られているが、いずれも減失している。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市国府町木曽垣内 交通/飛騨国府駅から車で約5分



### Contents 120 平安京·船岡山·建勲神社





境内一帯は国の史跡、風致地区であり、桜、赤松、紅葉の木々に囲まれた 社殿のたたずまいは、おごそかで別天地の感が深い。また、拝殿前から眺 める比叡山、妙意ケ嶽(大文字山)、東山36峰はまさに絶景。

Directions 場所と行き方 場所/京都府京都市北区紫野北舟岡町49 交通/北大路駅から車で約5分





#### Contents 121 平安京 大極殿





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

大極殿は、安元3年(1177)の大火後は再建されず、大極殿での儀式は内 裏の紫宸殿へ移った。朝堂院の西には饗宴(きょうえん)施設である豊楽院 (ぶらくいん)、北東には天皇の居所である内裏がある。

Directions 場所と行き方 場所/京都府京都市中京区丸太町通交通/円町駅から車で約3分



#### Contents 122 平安京 羅城門跡





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

朱雀大路の南端に設けられた、都の表玄関にあたる大門で、この門を境に 京の内外を分けた。弘仁7年(816)に大風により倒壊し、その後に再建さ れたが、天元3年(980)の暴風雨で再び倒壊した後は再建されなかった。

Directions 場所と行き方 場所/京都府京都市南区唐橋羅城門町54 交通/京都駅から車で約10分



# Contents 123 匠の道・平城京





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

第一次大極殿(だいごくでん)は、奈良時代前半に、平城京の中軸線上に建てられた平城宮の中心的建物で、天皇が様々な国家儀式を行なう施設であった。大極殿は和銅8年 (715) には完成していたと考えられている。

Directions 場所と行き方 場所/奈良県奈良市二条大路南3丁目5-番1号 交通/大和西大寺駅から車で約5分



# Contents 124 椿井大塚山古墳





木津川を望む段丘上(だんきゅうじょう)に立地する古墳時代前期初頭の 前方後円墳である。偶然に発見された竪穴式石室から、三角縁神獣鏡30数 面を含む40面近くの銅鏡や、おびただしい量の副葬品が出土した。

Directions 場所と行き方 場所/京都府木津川市山城町椿井三階・大平 交通/棚倉駅から車で約5分





# Contents 125 匠の道・蟹満寺





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

古代蟹満寺の寺域は、天神川を越えて 200m 四方にもおよぶことが予想される。境内で発見された大規模な瓦積基壇建物跡はかつての金堂跡と考えられ、その国宝仏は、今から約1,300 年もの間、その位置を動いていない。

Directions 場所と行き方 場所/京都府木津川市山城町綺田浜36 交通/棚倉駅から車で約6分



### Contents 126 匠の道・瀬田の唐橋





滋賀県大津市瀬田-唐橋町の瀬田川に架かる橋。全長 223.7m (大橋約 172m、 小橋約 52m) で、滋賀県道 2 号大津能登川長浜線がこの橋を渡る。京都の 宇治橋、山崎橋とならんで日本三大橋の1つとされてきた。

Directions 場所と行き方 場所/滋賀県大津市瀬田27 交通/瀬田駅から車で約10分





# Contents 127 東山道·草津宿





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

草津宿には、本陣・脇本陣などが設けられ、常善寺・立木大明神(立木神 社)ほかの多数の社寺が立ち並び、70 軒を超える旅籠をはじめ 500 軒以上 の町家があった。



場所/滋賀県草津市草津1丁目2-8 交通/草津駅から車で約8分



# Contents 128 東山道·守山宿





中山道の宿駅名。宿名は、鎌倉期には「十六夜日記」、室町期には「実暁記」に、守山宿として見え、当時は東海道の宿駅であった。江戸期は宿高2,019 石余。町並み11 町53 間余。

Directions 場所と行き方 場所/滋賀県守山市守山1丁目9 交通/守山駅から車で約5分





# Contents 129 飛騨匠伝説(郡上·立花六角堂)





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

六角堂は度々の補修で柱の多くは根継ぎされ、当初材は中央の来迎柱など 数本に過ぎない。しかし柱や斗組の部分に室町時代初期のものがそのまま 残っており、貴重な建築として国の重要文化財に指定されている。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県美濃市立花 交通/湯の洞温泉口駅から車で約3分



# Contents 130 飛騨の版画





<u>Digital archive</u> 詳しい情報はこちら

武田由平 (1892 年、冬頭町生まれ) は、1916 年から 1929 年まで 13 年間、 馬場小学校 (東小学校) で先生をしていた。学校に初めて版画を取り入れ た先生。色彩版画が主で、面(めん)によって深い世界を表わしている。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市内 交通/高山駅から車で約3分



#### Contents 131 飛騨の木製飛行機





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

陸軍四式戦闘機「疾風」を原型に製作した木製飛行機は、終戦までに十二機分の胴体と翼を作り上げて富山の組み立て工場に送っているが、実践配備されることなく終戦を迎えた。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市千島町291 交通/高山駅から車で約6分



### Contents 132 郡上長滝寺と飛騨匠





白山中宮長瀧寺は、奈良時代の養老年間(717-724)越前の僧泰澄の創建とされ、平安時代から白山信仰の拠点となる。大正から昭和にかけて神社本殿と拝殿、長瀧寺の講堂などがもとの場所に再建され現在に至っている。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県郡上市白鳥町長滝 138 交通/北濃駅から車で約3分





# Contents 133 近代建築の名工・坂下甚吉





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

飛騨は「飛騨匠」の語彙で知られるように、古代より木造建築の技術に秀でた大工が数多輩出している。その一系統に、江戸末期より明治・大正・昭和初期にかけて、高山を中心に飛騨一円で活躍した「坂下家」がある。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市内 交通/高山駅から車で約3分



#### Contents 134 名工·西田伊三郎(吉島家)





吉島家は明治8年の大火後翌年再建をした。明治38年、再度火災にあってしまったが、表側二間分だけは焼け残ったため、その部分を残して明治初年の規模どおりにすべく、明治40年から再建を始めた。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市大新町1丁目51 交通/高山駅から車で約6分





# Contents 135 名工·川尻治助(日下部、田上家)





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

丹生川村の田上家は、12年かけて完成させた豪壮な農家である。家主は田上太郎四郎であり、日下部家と外観の雰囲気が似る。違うのは、農家と町家の間取りの違いであり、また、大屋根下の雲形持ち送りの意匠である。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市大新町1丁目52 交通/高山駅から車で約7分



# Contents 136 高山の土蔵の創始・江戸屋萬蔵





左官の名工。山城屋万蔵と称する。江戸神田銀金町から高山に移り住んで、 江戸式の土蔵の塗り方と型を高山へ伝える。半浮彫りの絵を塗り出した小 森家の土蔵の扉が高山市に寄贈された。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市島川原町47 交通/高山駅から車で約8分





#### Contents 137 屋台彫刻の名手・谷口与鹿





#### **Digital archive** 詳しい情報はこちら

谷口与鹿を含む宮大工谷口家は、文化年間 (1804~1818) から明治時代まで70年余の間、高山祭の屋台の補修、改造を担当してきた。与鹿は琴高台の鯉、麒麟台の唐子群遊に続いて恵比須台の彫刻を手がけている。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市宗猷寺町218 交通/高山駅から車で約8分



#### Contents 138 匠伝承·西明寺三重塔





建立年代は明らかでないが、様式手法からみて鎌倉時代後期のものと推定 される。巨勢派の絵師が丹精を込めた仏画がよく残っており、長押(なげ し)、幣軸(へいじく)、天井等隅々まで極彩色文様で装飾されている。

Directions 場所と行き方 場所/滋賀県犬上郡甲良町池寺26 交通/尼子駅から車で約11分





#### Contents 139 匠伝承·西明寺本堂





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

西明寺は平安時代の承和元年(834)に三修上人が、仁明天皇の勅願により 開創された寺院である。国宝第1号指定の本堂、三重塔、二天門が火難を 免れ現存しているのである。

Directions 場所と行き方 場所/滋賀県犬上郡甲良町池寺26 交通/尼子駅から車で約11分



#### Contents 140 古川祭





古川祭(ふるかわまつり) は毎年4月19日、20日に岐阜県飛騨市古川町 (旧 吉城郡古川町) で開催される気多若宮神社の例祭。国の重要無形民 俗文化財に指定ならびに、ユネスコの無形文化遺産に登録されている。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県飛騨市古川町壱之町14-5 交通/飛騨古川駅から車で約2分





#### 





Digital archive 詳しい情報はこちら

亀塚古墳は径70mに及ぶ大円墳。多量の武器のほか、全国的にも希有な甲冑を副葬しており、この古墳の被葬者は5世紀前葉の飛騨最大の豪族で、飛騨の豪族たちの盟主と亀塚古墳は深い関わりがあるとされている。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市国府町広瀬町2586-6 交通/飛騨国府駅から車で約1分



### Contents 142 飛騨国分尼寺と条里





遺物は、奈良時代から平安時代にかけての須恵器・灰釉陶器と瓦が出土した。 軒瓦は、飛驒国分寺跡と同笵の軒丸瓦が採集されているが、この国分 尼寺で使われていたものとは断定できない。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市岡本町2丁目130 交通/高山駅から車で約5分





# Contents 143 縄文時代の木工技術





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

上野町の垣内遺跡からも大量の磨製石斧が見つかっており、しかもノミの機能を果たした小型の磨製石斧も見つかっており、ほぞ穴の建物が 4000 年前からあったことがわかる。



Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市上野町 1089 交通/高山駅から車で約12分

### Contents 144 東山白山神楽台、飛騨総社東





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

東山白山神社は往時安川通に鎮座されていたが、金森氏が城下町を経営するにあたり現在地に移された。弘化4年(1847)創建。明治24年(1891)に、方形だった大太鼓の枠を丸枠に替え3段形態とした。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市神田町2丁目114 交通/高山駅から車で約5分



# Contents 145 鎌倉大仏殿高徳院





<u>Digital archive</u> 詳しい情報はこちら

「露坐の大仏」として名高い高徳院の本尊、国宝銅造阿弥陀如来坐像。像高約11.3m、重量約121t を測るこの仏像は、規模こそ奈良東大寺の大仏に及ばないが、日本の仏教芸術史上ひときわ重要な価値を有してる。

Directions 場所と行き方 場所/神奈川県鎌倉市長谷4丁目2-28 交通/鎌倉駅から車で約8分



#### Contents 146 長谷寺





正式には「海光山慈照院長谷寺」と号す。開創は奈良時代の天平八年(736) と伝え、聖武天皇の治世下に勅願所と定められた鎌倉有数の古刹。東国を 代表する観音霊場の象徴としてその法灯を今の世に伝えている。

Directions 場所と行き方 場所/神奈川県鎌倉市長谷3丁目11-2 交通/長谷駅から車で約2分





#### Contents 147 円覚寺





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

円覚寺は創建以来、北条氏をはじめ朝廷や幕府からの篤い帰依を受け、寺 領の寄進などにより経済的基盤を整え、鎌倉時代末期には伽藍が整備され た。



Directions 場所と行き方 場所/神奈川県鎌倉市山ノ内409 交通/北鎌倉駅から車で約1分

#### Contents 148 建長寺





建長7年(1255)2月に造られた梵鐘(国宝)に「建長禅寺」とあるように、当寺はわが国で最初に"禅寺"と称した中国宋朝風の臨済禅だけを修行する専門道場である。

**Digital archive** 詳しい情報はこちら

Directions 場所と行き方 場所/神奈川県鎌倉市山ノ内8 交通/北鎌倉駅から車で約4分

#### Contents 149 鶴岡八幡宮





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

現在の御本殿は、文政 11 年(1828)、江戸幕府 11 代将軍徳川家斉の造営による代表的な江戸建築で、 若宮とともに国の重要文化財に指定されている。



Directions 場所と行き方 場所/神奈川県鎌倉市雪ノ下2丁目1-31 交通/鎌倉駅から車で約6分

# Contents 150 飛騨の家具





<u>Digital archive</u> 詳しい情報はこちら

飛騨国は優れた木工集団「飛騨の匠」を派遣する見返りとして、租・庸・ 調のうち、庸・調という税が免ぜられた。これが律令政治による、飛騨から都へ人材を派遣するという「飛騨の匠」制度の始まりである。



場所/岐阜県高山市千島町900-1 交通/高山駅から車で約11分



# Contents 151 高山城址





<u>Digital archive</u> 詳しい情報はこちら

飛騨の守護代である多賀出雲守徳言によって、文安年中 (1444 年から 1449年) に築城され、近江の多賀天神を祀ったことから多賀天神山、城は多賀山城と呼ばれたという。



Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市城山 交通/高山駅から車で約8分

# Contents 152 和歌浦天満宮





<u>Digital archive</u> 詳しい情報はこちら

学問の神様である菅原道真が祀られ、大宰府天満宮、北野天満宮とともに 日本の三菅廟といわれている。楼門は一間楼門として最大規模。本殿は国 重要文化財である。

Directions 場所と行き方 場所/和歌山県和歌山市和歌浦西2丁目1-24 交通/紀三井寺駅から車で約11分



# Contents 153 紫香楽宮跡 (甲賀寺跡)





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

信楽高原鐵道の紫香楽宮跡駅から北西へ約 1km、松林に覆われた丘陵地に 残る、国指定の史跡。この寺院は、聖武天皇が紫香楽宮で大仏造立をはじ めた甲賀寺跡だと考えられている。

Directions 場所と行き方 場所/滋賀県甲賀市信楽町黄瀬 交通/紫香楽宮跡駅から車で約3分



#### Contents 154 姫路城





姫路城は播磨国飾磨郡のち飾東郡姫路、現在の姫路市街の北側にある姫山 および鷺山を中心に築かれた平山城で、日本における近世城郭の代表的な 遺構である。

Directions 場所と行き方 場所/兵庫県姫路市本町68 交通/姫路駅から車で約9分





# Contents 155 豊国神社





**Digital archive** 詳しい情報はこちら

唐門は桃山城の遺構と伝わり、西本願寺・大徳寺の門と共に国宝三唐門と 呼ばれている。扉には鯉の滝登りが彫られていて、この門をくぐると出世 するといわれる。また左甚五郎作の「目無しの鶴」という彫刻もある。

Directions 場所と行き方 場所/京都府京都市東山区茶屋町530 交通/清水五条駅から車で約2分



#### Contents 156 平湯神社





平湯神社は、この平湯温泉の中心地に鎮座する神社で、創建時期は定かではないが、もともとは天照大御神を御祭神として祀る神社で「神明神社」

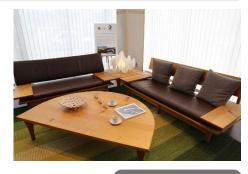
中海神社は、この中海温泉の中心地に興産する神社で、前建時朔は足がではないが、もともとは天照大御神を御祭神として祀る神社で「神明神社」と呼ばれ、里人の崇敬を集めている。

Directions 場所と行き方 場所/岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯 24-1 交通/高山駅から車で約52分



#### Contents 157 飛騨木工家具





<u>Digital archive</u> 詳しい情報はこちら

飛騨における洋家具発祥の歴史は、大正9年に取り組んだ家具作りが源である。当時未活用材であったブナ材の活用を考え、多くの困難を乗り越えて飛騨を一大家具産地に発展させた歴史がある。



Directions 場所と行き方 場所/高山市内 交通/高山駅から車で3分

#### 資料1 デジタルサイネージへの展開

飛騨高山匠の技ものがたり(日・英)



飛騨高山の匠の技とこころ(日・英)



飛騨高山の技とまつり(日・英)



飛騨高山匠の技デジタルアーカイブの約8万点の地域情報から新たに映像のデジタルコンテンツを作成し、中部 国際空港にデジタルサイネージを設置し放映している。 左の QR コードで、その映像を見ることができます。

